

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	保健・体育Ⅴ
科目基礎情報					
科目番号	200024		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書：現代保健体育 (大修館書店)				
担当教員	吉澤 恒星,中瀬 巳紀生				
到達目標					
様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
様々なスポーツ種目の実践を通じて、健全な身体の発達及び体力の向上がみられる	スポーツ種目全般について、試合をこなす体力が獲得できる。		得意な種目について、試合をこなす体力が獲得できる。		全ての種目において、試合をこなす体力が獲得できない。
様々なスポーツ種目の実践を通じて、生涯スポーツ実践のための基礎スキルを獲得できる	スポーツ種目全般について、基礎スキルを体現できる。		得意な種目について、基礎スキルを体現できる。		全ての種目において、基礎スキルを体現できない。
様々なスポーツ種目の実践を通じて、技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度を醸成できる。	授業での種目実践 (試合など) においてグループの中でリーダーシップを発揮できる。		授業での種目実践 (試合など) においてグループの中で良好な人間関係を構築できる。		授業での種目実践 (試合など) において人間関係を構築できない。
様々なスポーツ種目の実践や保健の授業を通じて、健康に対する基本的な知識を習得できる	健康に対する基本的な知識を十分に習得し、日々の生活の中で実践できる。		健康に対する基本的な知識を習得し、日々の生活の中で部分的に実践できる		健康に対する基本的な知識を習得できず、実践できない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 D-3					
教育方法等					
概要	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。				
授業の進め方・方法	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。				
注意点	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		2週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		3週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		4週	スポーツ大会練習	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		5週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		6週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
		7週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	

4thQ	8週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	9週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	10週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	11週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	12週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	13週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	14週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	15週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	16週	試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	
			自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	
			目標の実現に向けて計画ができる。	2	
			目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	
			日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	
			社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	
			チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
			チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
			当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
			チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
			リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	
			適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	
			リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	
			法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
			他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
			技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	40	40
専門的能力	0	0	0	0	0	40	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20